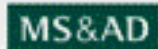


### MS&ADシステムズ 株式会社様

(旧：三井住友海上システムズ 株式会社様)



MS&ADインシュアランスグループ



会社名	MS&ADシステムズ株式会社
設立	1986年7月
資本金	1億円
	MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社全額出資
従業員数	約1,500名(2011.11 現在)
本店	東京都杉並区高井戸東3-31-14
URL	<a href="http://www.ms-ad-systems.com/index.html">http://www.ms-ad-systems.com/index.html</a>

## 「一人ひとり一つひとつを大切に」を合言葉に

三井住友海上グループ (MS I G) は2007年度から中期経営計画「ニューチャレンジ10」をスタートしています。  
グループ基本戦略を支える情報システムはMS&ADシステムズ様が中核としての役割を担っています

### ■ 財産は人財

MS&ADシステムズ様は人財育成を重要な経営課題としてとらえ、新入社員導入研修に始まり年層別研修、ホスト系・オープン系の技術研修、社外研究会参加などを通じて社員の成長を強力にバックアップしています

### ■ 課題はグローバル感覚を持った技術者の育成 キーワードはグローバル

経営トップはこれからのIT技術者はグローバル感覚を持たなければならないとの認識をお持ちでした。人財育成グループが中心となり具体的にグローバル感覚を持った技術者育成の検討に着手されました

### ■ 当社がインド研修を提案

国内基幹システム構築では長年信頼関係を築いて来た当社もグローバル経営への変革をめざしインドバンガロール市の北、トムクール市に研修センターを建設し英語による研修を開始する段階でした。そこでMS&ADシステムズ様へインド研修のご提案を行いました

### ■ なぜインドなのか

提案を受けたご担当は正直戸惑われました。研修先としては英語、IT技術ともに米国の方が適切ではないのか。研修の主目的はグローバル感覚を持った技術者の育成であり、英語力、IT技術力の向上だけでは無いとの判断で文化的なギャップのより大きなインドを研修先に決定されました

### ■ インドで誰に何を学ばせるのか

人選は各事業部から適切な人財を推薦してもらう形で進められました。プロジェクトマネージャー、リーダークラスの4名が選任されました。

MS&ADシステムズ様がこだわったのはインド人とのコミュニケーション。国民性、文化が違う人間どうしが一つのテーマに向かってどこまでベクトルを結集し成果を上げる事が出来るのか。参加者にはそれを体験させたい。そのキーワードがコミュニケーション。当社にはこれらを学べる研修内容が求められました

### ■ 当社の研修の特徴

**SCII技術者とのコミュニケーション**  
当社の研修は単にインドの外部研修施設やカリキュラムを活用するのではなく、当社現地法人SCIIのインド人技術者とのコミュニケーションをベースとした研修にあります。

MS&ADシステムズ様へもSCIIのインド人技術者とのコミュニケーションをベースとした研修をご提案、採用されました

### ■ 長期で学ばれるには安全が必須

当社は研修施設と宿泊が同一敷地内にありガードマンによる24時間監視体制が整備されています

### ■ 食事も大切

力の源はやはり食事、日本食ベースでご提供します

# インドで学べ！ インド研修事例

## ■ 主な研修カリキュラム（1ヶ月）

- **実践ビジネス英語**  
外部教育機関を利用しビジネスシーンで必要となる英語会話を中心に学んでいただきます
- **インド人技術者とのプロジェクト体験**  
日本で事前に作成した英語版テーマを元にインド人技術者と一緒に汗を流していただきます  
必要に応じ日本人スタッフが支援いたします
- **インドの工科大学視察**  
SITなどインドITを支える学生を数多く輩出する工科大学の教授陣とコミュニケーションいただきます
- **インドIT企業視察**  
インフォシスなどインドで有数のIT企業を視察していただきます

## ■ 研修実施成果

ご担当者様との綿密な打合せ、準備もあり参加者全員が英語で外国人技術者と業務を進める事に自信を持っていただく事が出来ました。  
今回の研修を通して日本では当たり前な事がグローバルな視点では必ずしもそうではない事も数々体験され、日本ででの生活を見直す機会にもなったようです。  
第一歩としては大きな成果を得る事が出来たと評価を頂きました。  
MS&ADシステムズ様は引続きグローバル感覚を持った技術者育成に取り組んでいかれます

## ■ 研修センター&ゲストハウス

研修センターと宿泊施設は同一敷地内にあり安全に研修を受けることが出来ます



研修センター

ゲストハウス

## ■ 研修実施風景



## ■ お客様の声

### ■ 参加者の声

MS&ADシステムズ株式会社  
(旧：三井住友海上システムズ株式会社)  
生保システム部  
卯都木 しのぶ 氏



参加する前は英語とインドという土地に対して不安がありました。  
しかし、百聞は一見にしかず！  
実際に現場に飛び込んでみて、相手が外国人技術者であっても気持ちを通わせ、プロジェクトを遂行できるということを体感しました。  
また、衛生面・食事面の管理が行き届いており想像以上に快適な、そして充実した1ヶ月間を過ごすことが出来ました。

### ■ 責任者の声

MS&ADシステムズ株式会社  
(旧：三井住友海上システムズ株式会社)  
人財育成グループ  
市川 博巳 氏

1ヶ月間インドにいることで外国人への抵抗感が無くなり、流暢な英語ではなくてもコミュニケーションが取れるという点で参加者にとって大きな自信になりました。  
英語の習得、外国人との業務経験、異文化の体験といった点からグローバルな感覚を養うために大変効果的な研修となりました。